



年明けから2ヶ月を過ぎ早くも年度末を迎える今日この頃。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？4月には医療・介護・障害福祉のトリプル改定があります。サービスの質の更なる向上に取り組む南郷の現在を、今月もたっぷりお届けいたします。

特集 能登福祉 救援ボランティア ネットワーク 介護職員派遣

先月号の南郷通信で「特養こすもす」さんに4Fのリーダー2名がボランティアを志願し、現地へ行ってくれたニュースをお届けしました。あれから1ヶ月、吉岡・玉木の両リーダーは1ヶ月の派遣期間を終え、無事に南郷へ戻ってきてくれました。4日の職員会議で、全職員の前で帰還報告をしてくれていますが、今回の南郷通信では、リーダー2名に直接インタビューを行いましたので、ご紹介させていただきます。

職員会議の様子



特養こすもすさんの外観



吉岡 リーダー

1ヶ月間ボランティアとして活動して、率直な今の感想を聞かせて下さい

吉岡)参加出来て良かったと思います。自分自身の経験として、また、同じ特養で仕事をしている立場として、どんな形であれ、役に立てることがたくさんあることを知れた、内容の濃い1か月間となりました。

能登里山街道



行く前に想像していたりメディアを通じてみていたことと、実際に行くと目にしたことで、一番驚いた事はどんなことでしたか？

吉岡)TVのニュースでは毎日目にしていましたが、それはほんの一部分で、実際に現地に入ると規模の大きさ、被災状況、物資の状況、全てがTVで見るのとは別物に感じました。

こすもすの施設長さんと



玉洲市のマンホール



珠州市宝立地区

期間中、一番嬉しかったことはどんなことですか？

吉岡)ボランティア最終日、特養こすもすの施設長さん、現場の職員全員に「ありがとう」と言葉を頂いた事です。期間はたったの1ヶ月間でしたが、皆さんに感謝された時に非常に嬉しく思いました。

玉木 リーダー

1ヶ月間ボランティアとして活動して、率直な今の感想を聞かせて下さい



玉木)「百聞は一見に如かず」まさにことわざ通りだと思いました。実際に現地に行くと、自分達の街と変わらない風景から地続きに震災の被害にあった光景が存在することに驚き、津波や火災の被害の大きさに圧倒されることが多々ありました。1ヶ月間、被災した介護施設の中で、復旧していく過程に立ち合い、被災者でありかつ被災者を介護する立場の職員の生の声を聞いたのは、貴重な体験だったと思います。

ボランティアの男性スタッフ

今回自主的に参加した一番大きな理由はどんなことでしたか？

玉木)これまでの自分はあまり自身の環境を変えたくないと思う方であり、こういった外部に出て行くようなお話しは苦手な消極的でした。しかし、リーダーとして自分自身が成長しなければと思う所があり、その一助として今回参加してみようと思いました。この一歩を踏み出したことで、これまでの人生では経験したことのない、貴重な経験が出来たことを嬉しく思います。



輪島浜通り



能登福祉 救援ボランティア ネットワーク(2)

期間中、一番大変だと感じたことはどんなことでしたか？

玉木
リーダー

玉木)水が出ないため、片道120kmほど離れた金沢までコインランドリーを利用するために毎回移動が必要だったことです。また同様の理由で

震災の影響や水が出ないために近隣の店が臨時休業を余儀なくされており、唯一営業していた最寄りのコンビニは徒歩30分の場所にしかなく、9時から16時の時短営業であったため、買い物になかなか行くことができなかったのも大変でした。

輪島朝市



能登町の県道



こすもすの職員さんと

行く前と行った後で、考え方など自分自身に変化を感じる事が何かあれば教えてください

玉木)初めて実際に被災した現場を目にしたことで、今まで自分とは関係ないと考えていた災害に対して、自分にも起こりえるものとして考えるようになりました。そして、

一部分だけですが、被災地を経験したことで、何が欲しいと思うか、何があればいいと思うか、以前よりも具体的に考えることが出来るようになりました。この経験を万が一の時には南郷でも活かしたいと思います。

吉岡
リーダー

行く前と行った後で、考え方など自分自身に変化を感じる事が何かあれば教えてください

吉岡)一言では言い表せませんが、生活のあり方が自分としては一番考えさせられました。今ある普通の暮らし、日常で当たり前のことなどが、たった一日数分で全て失われてしまう状態であった為、今まで以上に、ご利用者様の生活をより良いものにできるよう考え、取り組んでいきたいと思いました。

今回サポートを終えるにあたりボランティア団体様や、特養こすもすさんから素晴らしいお褒めの言葉と御礼をいただき、施設長として本当に誇らしく、親心として鼻高々の気分でした。1カ月リーダー2名が不在でちゃんと運営出来ているのかと驚かれましたが、これはひとえに職員達のサポートやご家族様のご協力があったことで、実は特養の有休休暇希望の予定日数は毎月20日以上で、職員一名分程です。また何年も感染対応で急な勤務変更に対応してきてくれた職員達はお互いにサポートの仕方を心得てくれるので今回も本当に協力しながら頑張ってくれました。お褒めの言葉で一番嬉しかったのは、「リーダーの2名が素直で、雑用でもなんでも気持ち良く要望通りに様々な事に感謝しながら仕事をしてくれた」という事です。今回はサポートさせて頂く側ではありますが、災害時のボランティアネットワークの重要性をとっても感じることが出来ました。

施設長 宮中 久美

介護報酬改定

2024

お伝えしている通り、この4月に3年に1度の介護報酬改定が行われ、基本報酬や加算の算定内容が変わります。加算とは、人員や国へのデータ提出など、一定の要件を満たした事業所が取得できるものであり、その分ご利用いただく皆様のご負担は増えることとなります。ですが、加算の設定は国の示す介護の方向性であり、南郷では加算の取得を「サービスの見える化」と捉え算定に力を入れております。ご利用いただく皆様には、どうかその点をご理解いただき、今後ともご協力を賜りたいと存じます。各事業所ごとに案内をお送りいたしますので、何卒よろしくお願いいたします。

面会の要件緩和へ

この案内を持って、居室での面会を

1回に**30分**へ変更

(※1度に2人、中学生以上はそのまま)

昨年同様屋外での面会を実施

こちらは、**人数制限なし 年齢制限なし**

(※1回30分 電話予約必要)

いずれもマスクの着用は**必須**、

※**週2回**は継続です。

(居室1回 屋外1回 でも可です。)

(※3/25~4/5頃にかけて施設のお花見行事が実施されるため、行事が企画されている時間の面会予約はお受けできませんので悪しからず。)

ご来苑、ご連絡お待ちしております。